

ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

(宛先)

滋賀県知事 様

届出者 氏名または名称および住所ならびに
法人にあってはその代表者の氏名

大気汚染防止法第 6 条第 1 項(第 7 条第 1 項、第 8 条第 1 項)および滋賀県公害防止条例第 30 条(第 31 条、第 32 条)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場または事業場の名称		*整理番号	
工場または事業場の所在地		*受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種 類		*施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙 1 のとおり。	*審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	*備 考	
ばい煙の処理の方法	別紙 3 のとおり。		

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 および滋賀県公害防止条例別表第 2 に掲げる項番号および名称を記載すること。
- 2 印の欄には、記載しないこと。
- 3 添付書類
 (1) ばい煙の排出の方法を示す図面等
 (2) ばい煙発生施設およびばい煙処理施設の設置場所を示す図面等
 (3) ばい煙の発生およびばい煙の処理に係る操業の系統の概要を示す図面等
 (4) 煙道における排出ガスの測定箇所を示す図面等
 (5) 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前および変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書および別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

ばい煙発生施設の構造

工場または事業場における施設番号			
名 称 お よ び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	伝 熱 面 積 (m ²)		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積または羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg / h)		
	焼 却 能 力 (kg / h)		
	乾 燥 施 設 の 容 量 (m ³)		
	電 流 容 量 (K A)		
	ポ ン プ の 動 力 (K W)		
	合 成 ・ 漂 白 ・ 濃 縮 能 力 (m ³)		
	鋳型の造型能力 (kg / h)		
	フェノール樹脂の生成量 (t / h)		
混 合 施 設 の 容 量 (m ³)			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、それぞれ該当する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格 A 列 4 番の大きさに縮小したものまたは既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号							
使用状況	1日の使用時間 及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		時～時 時間/回 回/日 日/月			
	季節変動						
原材料 (ばい煙 の発生に 影響のあ るものに 限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合 (%)	いおう分 カドミウム分 アンチモン分	鉛分 弗素分 フェノール分	いおう分 カドミウム分 アンチモン分	鉛分 弗素分 フェノール分		
	1日の使用量						
燃料また は電力	種類						
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	窒素分	灰分	いおう分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量						
	混焼割合						
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大	通常	最大	通常	
		乾き	最大	通常	最大	通常	
排出ガス中温度 ()							
排出ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙 の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	最大	通常	最大	通常		
	いおう酸化物 (容量比 ppm)	最大	通常	最大	通常		
	カドミウムおよびその 化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常		
	塩素 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常		
	塩化水素 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常		
	弗素、弗化水素および 弗化珪素 (mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常		

	鉛およびその化合物 (mg / Nm ³)	最大 通常	最大 通常
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	最大 通常	最大 通常
	アンチモンおよびその化合物 (mg / Nm ³)	最大 通常	最大 通常
	フェノール (mg / Nm ³)	最大 通常	最大 通常
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm ³ / h)	最大 通常	最大 通常
参 考 事 項			

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄および燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%または容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関またはガソリン機関については、常用または非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	最 大		
		通 常		
	排出ガス温度 ()	処理前		
		処理後		
	ば い じ ん (g / Nm ³)	処理前		
		処理後		
	い お う 酸 化 物 (容 量 比 ppm)	処理前		
		処理後		
	カドミウムおよびその化合物 (mg / Nm ³)	処理前		
		処理後		
	ば い 煙 の 濃 度	塩 素 (mg / Nm ³)	処理前	
		塩 化 水 素 (mg / Nm ³)	処理前	
	弗素、弗化水素および弗化珪素 (mg / Nm ³)	処理前		
		処理後		
	鉛およびその化合物 (mg / Nm ³)	処理前		
		処理後		
	窒 素 酸 化 物 (容 量 比 ppm)	処理前		
		処理後		
	ア ン チ モ ン お よ び そ の 化 合 物 (mg / Nm ³)	処理前		
		処理後		
フ ェ ノ ー ル (mg / Nm ³)	処理前			
	処理後			
ばい煙量	い お う 酸 化 物 (Nm ³ / h)	最 大	処理前	
			処理後	
		通 常	処理前	
			処理後	

捕 集 効 率 (%)	ば い じ ん		
	い お う 酸 化 物		
	カドミウムおよびその化合物		
	塩 素		
	塩 化 水 素		
	弗素、弗化水素および弗化珪素		
	鉛 お よ び そ の 化 合 物		
	窒 素 酸 化 物		
	アンチモンおよびその化合物		
フ ェ ノ ー ル			
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月
	季 節 変 動		
排 出 口 の 実 高 さ	H_o (m)		
補正された排出口の高さ	H_e (m)		
排 出 速 度	(m / s)		
敷地境界までの最短水平距離	(m)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さ H_e は大気汚染防止法施行規則第3条第2項、滋賀県公害防止条例施行規則別表第8の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。